

平成30年6月29日

草津市議会議長 瀬川 裕海 様

草津市議会会派 公明党

代表 西村 隆行

「ギフトッド教育カンファレンス2018」への参加について、下記のとおり報告書を提出いたします。

#### 記

1. 期 間 平成30年6月9日（土）、6月10日（日）

2. 日 程

・ギフトッド教育カンファレンス2018

6月 9日（土） 午前10時から午後4時40分まで

6月10日（日） 午前10時から午後4時30分まで

3. 参 加 者 公明党 西垣 和美

4. 添付資料

別紙のとおり

## 研修報告書

平成30年6月29日  
公明党会派 西垣 和美

### 【内容】

「ギフティッド教育カンファレンス2018」

主催；日本ギフティッド協会

### 【日時】

2018年6月9日（土）、10日（日）

### 【開催場所】

スクエア荏原 大会議室 （東京都品川区荏原4-5-28）

#### ● 「ギフティッド」の研修を受講するきっかけ

ある時、会派のホームページに相談のメールが来て、初めてギフティッドということを知ったのがきっかけとなった。

相談内容の概要が、以下のものであった。

「一般的に思う「ギフティッド」とはIQが高く、天才である、などといった困難など持ち合わせない姿を想像されると思うが、「ギフティッド」のもつ、繊細さや感覚過敏、周りと話が合わず集団行動が苦手なことなどから、特別なサポートが必要であること、またLD(学習障害)などを併せ持っていることも多く、その突き出た才能を開花させるどころか、現在の一律で集団を相手とする公教育の中では、押しつぶされ、不登校やうつ状態などの二次障害に陥ることも多くある。

日本ではギフティッドの診断がつかないことより、今まで、存在をないものとされてきた。教育現場でその存在が知られ、適切なサポートをうけることで不登校にならず、自尊心を保ちながら、その才能を開花させることが重要だと考えている。」

#### ● ギフティッドの定義について

日本においては、ギフティッドの存在すらまだまだ認知されていないとのことで、その定義はいまだ確立されていないようである。

一般的にはIQが高い子供、となるようだが、高くなくても、ギフティッドのサインがあるか、ということも大事な要素とのこと。IQテスト（定量的評価）に加え、定性的評価（ギフティッドの特徴を測定）する方法などを使用して、ギ

フトか否かを判断しているとのことである。

## 《1日目》 6月9日（土）10時～16時40分

### ①「ギフティッドネス」とは 今瀬 博氏

日本のギフティッド教育で課題だと思うのは、専門性が高い分野において、専門家でない人が取り扱っていること。

以下、アメリカのギフティッド教育専門の中学校で勤務したオデッセイスクール（サンフランシスコの私立中学校）での話。

校長先生が、オープンスクールでよくいう言葉が、「ラストホープ」「ラストチャンス」であった。それは、ギフティッドの子どもが、中学生という思春期の時期に、周囲にどんな人がいるのかがとても大事だということを言っていた。その時期で適切な環境でなければ、その後の生き方においてとても困難を伴う可能性があるということ。

（そのスティーブ校長先生のギフティッド教育における子どもたちとのエピソードが話された）

#### 「AWAKENING EXCELLENCE」

その子の持っている魅力を本人が知れるようにコミュニティーが一丸で挑んであげることが大事。例えて言えば、玉ねぎの皮をどんどん剥いていって、中心のコアなものに目覚めさせること。

ギフティッドは、多才だけではなく、多彩ということを知る。

ギフティッドの子は、日本の教育では辛いと思う。教育が障害になっている場合がほとんど。

アメリカは、ホームスクールがある。

ギフティッドの成長過程に、何らかのプロセスに入っていないと行かない。自分にチャンスを与え、人と繋がるチャンス。新しいことをチャレンジするチャンス。周囲に価値観をプッシュできる人が必要。

ギフティッド教育は、ピンからキリまであるが、そのレベルは何で決まるか。

三つの要素が必要。

① エducator（高度な専門性が必要）

② カリキュラム

③ コミュニティー（ずっと関わっていく）

これらが揃ってこそ、良い教育ができる。

学校は成長していく場所としてのベストフィット。その子に合ったチャレンジがされること。その子が持っている情熱をベースにする。

ギフティッドは、診断されるのではなく、“ギフティッドと見極められる”ことが大事。

アメリカには、「ギフティッドサポートセンター」があり、あらゆることのテストを行う。テストに加えて、保護者の意見で総合的に判断する。

それで、合っている学校、教育環境まで説明してもらえ。いわゆるどんなチャレンジが必要か、ということ。

ただし、私立校の中には、多額の学費を要する学校もある。(幼稚園から12歳卒業までトータルで6千万円！という学校もある)

ギフティッドは、教育用語。ギフティッドという教育ラベルを剥がす。自分の魅力を話す。

非同期（アシンクロニ）の成長。例えば、知能面が優れていても、身体面、社交面は成長していない、といったことが多くある。だから、飛び級となった時に、苦勞することがある。気持ちに圧倒されると、ベストな選択ができない。

「ギフティッドネス」とは、個々の異世界な経験であり、潜在力である。それは、非同期の成長、奇想天外な認知、独創的な思考、そして激しい感受性の4つが折り重なって創造している。

安心できるコミュニティーが必要。アフリカのある村の言葉に「ひとりの子どもを育てるためには、村中みんなの力と知恵が必要」とあるように。

そのことで、大人が成長する。3つのR。

**Risk** リスクを取る（言葉でなく態度で）

**Reflect** 振り返る（アウトプット、ストップして振り返る）

**Resonance** 共鳴する

子育てをみんなですることが大切。その子が挑まれているかどうか。



②「ギフティッドと見極められる子どもたち」 ステーブ・スミュイン氏  
3つの問題について

1. 何がギフティッドで何がそうでないか
2. どうやって日本の文化がギフティッド教育をやらせないようにしているのか
3. ギフティッド教育とはどういうものか

ギフティッドの子はトップ10%の当事者である。同世代と比べて、顕著な差がある。

ギフティッドの子どもたちは、優れている事実でなく、あとちょっとで届くから、ということのチャレンジに優れている、ということ。

今ではない、子どもたちの将来について備えていることが大事。

全ての子どもたち、全て大切。その中でも、ギフティッドの子らが、どうやって学ぶか。

大事なことは、何をしたかでなく、タスクを達成している過程の中でどういうことを行ったか。どうなったかでなく、どうやってそこに行ったのかが大切。

メンター、優れた先生が育ててあげれば素晴らしい。

全てのギフティッドの子たちは、異なるサイズ、大きさ、少しずつ違う。

一番大切なことは、全てにおいてギフティッドであるわけではなく、優れているわけではない。

ギフティッドの子は、異なる考え方をする。問題に対して、違うアプローチの取り方をする。成功を異なる角度で見る。

スペルが苦手。イメージを沸かせてしまうから。視覚優位。

読むために覚えるが、スペルが大事ではない。学習障害を持っている可能性もある。全て凸凹がある。

ほとんどの子が好奇心旺盛。一つのことに興味を持っている。何に興味をもつ、ということより、何故か、ということに興味を持つ。

例えば、テレビを見るより、どうやって映るのかを分解したがるかもしれない。簡単すぎると、飽きてしまう。

異なる学習のニーズがある。プロフェッショナルの学び。早くでなく、どのように上手にやるかに興味を持つ。

ギフティッドの教育は、キャラクター教育であると言える。

IQ, EI (感情知性) — 社会、環境、自己管理、自己理解  
ソーシャルスキルについての遅れが生じることが多い。

優れた知性とクリエイティブな能力を持ち備えた生徒が違った将来を創造する。  
今、将来のために大学に行っているか？

ギフティッドの見極め方は、色々なテストがあり、総合的に判断する。

第一は IQ。 教師の推薦状。成績表。プレゼンテーション。インタビュー (話  
すとわかる。言語能力が高い) パフォーマンスコンテスト。苦手な成績。

知って、見極めて、教育する。

ソーシャルスキルの訓練。

成功や失敗への恐怖が大きい。

国際的な数学や科学のテストには、大体上位 5 位に入る。

(知識だけのテストは良くないが)

グループワークが苦手。協力して何かをやるのが苦手。

ギフティッドの子の学びは、高い教育が必要。教師はこのように教えられるべき  
であり、そうでなければ教えられない。

日本は、約 20 年、いやそれ以上に遅れている。現在、まだ定義付けを行って  
いる状況。

政府や自治体は、ギフティッド教育への予算を提供しているか？ギフティッ  
ドのコーディネーターはいるか？

日本の多くのギフティッドの子どもたちは学校に行っていない。

公立の学校はアカデミックな教育にマッチしていない。日本の教師の文化は、  
ギフティッドの子のニーズに合わせるのは難しい文化。

日本は出る杭は打たれる。ギフティッドの子どもたちは仲間を見つけられる  
のだろうか？みんな、違う。それぞれ違ったニーズにマッチしなくてはならな  
い。

日本人は難しい。先生が知らない。先生は子どもたちから学ぶ。ギフティッド  
教育はユニークな考えを誘う。

学校に行けない、のに行かない、は違う。

学校に行かないのは何故か？いじめであれば、学校に解決してもらおう。飽きて  
いたら、親が先生に働きかける。

日本では、知っている人が少ない。医者が少ない。遅れて劣っている。  
アメリカが完全なシステムを持っている訳ではない。  
弁護士、セラピストが世界の情勢とくらべて、下から二番目（日本）。  
日本の文化はギフティッド教育とマッチしていない。出来ることから、行う。  
先生と協力しながら、味方につけて先生に質問し、頼む。

③「日本におけるギフティッドの神話と現実」 今瀬 博氏

一般的なギフティッドの概念

→天才、発達障害、異端児、扱いづらい、天才だから何も学校はしなくて良い、面倒な子、特別な才能…。

現実には、言葉も知らない。部屋にいる象。(みんな、象が見えているのに、話題にしてはいけない、話さない) 天才、ということで終わる。真実は、挑むべきことはある。

2012年にアメリカから帰国して初めて使った文。

- 1、 ギフティッドは発達障害である。  
→違う。(アメリカではそのような扱いかたをしたことがない)
- 2、 ギフティッドは天才である。  
→素晴らしい発想で問題が解決した時。  
(上位2%中の1%が天才 (genius) と言われている。)
- 3、 ギフティッドは、成功を意味する。(将来有望)  
→すごいプレッシャー
- 4、 高いIQを持っている生徒がギフティッド。  
→マルチソースから決める。ソーシャルリソースが必要な生徒かもしれない。
- 5、 IQに凸凹を持っている生徒がギフティッド。  
→処理速度が遅い。
- 6、 2E (2重の特別支援) がギフティッド。(学習障害や発達障害との)  
→困っていないとギフティッドでないのか？

アメリカ陸軍によって IQ テストは使われた。アーミーで学ぶことが出来ない人を選ぶために。優秀な人を選ぶためではない。

7歳～47歳の人たちのギフティッドを研究。IQ130 以上でないとはギフティッド教育は受けられない。ギフティッドという言葉は教育ラベル&スティグマ  
何故、この教育ラベルによって子どもたちは助けられ、また苦しむのか。  
ラベルを剥がすことは大切。

アメリカのギフティッド教育のプログラムを受けている高校生の意見。

トップ10

1. 支援は必要でない
2. 一般クラスも提示
3. クラスのお手本になる
4. 親として全ての子がギフティッド
5. 飛び級ができる
6. エリート教育—自分の場所を見つけること
7. 賢い?
8. 発達障害 (学習障害)
9. アドバンスクラス (メンターや多くの機会を)
10. ギフティッド教育はお金がかかる—未来のリーダーに投資を

メリーランド州は、公教育でギフティッド教育を行っている。

ギフティッドの子は、ほっといても大丈夫?いつまで?

挑まれなかった (挑ませて欲しかった)

日本は、出来ない所を頑張れ、頑張れ、と言われる。

ギフティッド教育は莫大にリソースがかかる。

お金、人、知識、場所、自然、文化等々

#### ④ 振り返り「ギフティッドへの挑戦」 (今瀬氏、スティーブ氏)

**Thrive** (努力して) 目標を達成する

成長の機会を自ら探し、快適ゾーンの外へ自分を押し出し、失敗も成功も、成長体験としながら自分を認め成長している状態。

**Survive** (困難な状況で) 何とかやっていく

自分に合っていない環境のもとでチャレンジされることもなく、だま



しだましやっていく。

**Revive** (死んだような状態の物事を) 復活させる、蘇えらせる  
私たちの「リミット」「言い訳」「箱の中の思考」「既存の概念」  
を捨てなければならない。→日本だから～、ギフト教育がない…。  
期待をしていく。

子どもはまだ自分が誰なのか、わからない。まだ見ぬ夢を少しでも見せてあげると子どもたちは、そうになってしまう魔法をもっている。

今回、このように集まってこられた方々は、日本で一番大事なリソースとなる。友人や周囲の人にも話して行って下さい。

## 《2日目》 6月10日(日) 10時～16時30分

2日目は、昨日の座学でなく、全てのカリキュラムがテーマを設定した小グループでのワークショップ形式であった。

### ① 「ギフト教育に関心のないお父さんにアピールするためには？」

課題一急いでいる通勤途中の駅構内で、思わず立ち止まって見るポスター作成(ギフトとは?の内容で)

### ② 「ギフト教育のレシピ」

課題一ギフト教育を料理で例えるなら、ギフトの子どものたちのニーズを元にした西洋と東洋の良さを融合した創作料理であり、常に改良される宇宙食であり、その場の素材を生かした郷土料理であり、愛情たっぷりの家庭料理である。一このコンセプトでギフトの子を育てるためのレシピを作る。

### ③ 「ギフトの子の課題と克服をパントマイムで表現」

茶色の模造紙を2枚使って、人型にし、ギフトの子が、何かに挑戦し乗り越える姿を4人の共同作業で手と足を動かして、言葉を全く発せずパントマイムで動きだけで、他の人に何の課題に挑戦し乗り越えているかを伝える。

以上の3つの課題をそれぞれ、2時間ずつかけてグループで行った。

全てがオリジナルであり、共同作業であり、普段の思考とは違うもので、頭を悩ませたが、グループには、必ずギフト当事者か保護者がおられ、実際の

日常からの課題を聞きながら行えたことが、とても勉強になった。

最後の講評として、狙い等の話があった。

ワークショップを行うことによって、どんな機会がありましたか？

- ・ 自分の子どもが直面していることを深く考える機会
- ・ ソーシャルエモーショナル（感情知性）のスキルを発揮する機会。
- ・ 言いたいことが伝えることが出来たか？
- ・ 自分の役割は何だったか？リーダー？フォロワー？メディエーター？
- ・ ディファレントアプローチ。どう取り組む？どんな気持ちで取り組むか  
お互い認め合うのか、バカにするのか、否定するのか。
- ・ グループでコミットメントがあったか？

子どもたちは、どこでエクササイズしていいか。

ティーチング？ラーニング？

オデッセイの学校ではルールが少ない。学校の規則はない。これは大事にすること、というものがある。同じように行動して、成功も失敗もない。

出来ない→今日はまだ出来ない、と言う。

## 【所感】

ギフティッドについて、初めての学びの機会になった。

沖縄から東北の方から全国から参加者があった。それは、国内において、いかにこのテーマでの勉強会やセミナーが少ないのかを物語っている。

そのほとんどが、保護者であり、当事者であった。全くの部外者は私も含めおそらく 2 名程度であった。よって、日本におけるギフティッドの子や大人たちの現状の生の声を聞くことが出来た貴重な機会となった。保護者にお聞きすると、そのほとんどのお子さんが中学生まで不登校。行けない、というより行かない。授業が面白くない、クラスメートの会話のレベルが低すぎる、合わない、といった要因が多かった。また、何より、学校側の理解がなくその多くが担任と合わない、ということ。中には、知っていなくても自ら勉強し理解をし、フォローされている先生の存在もあった。やはり、そのお子さんは不登校ではなかった。高校になると、通信高校や単位制もあり、やりたい内容やスタイルに合わせることができ、進学されていた。

しかしながら、公教育の小学校や中学校で学校にいけない、それは、学校や先生、教育委員会の無理解である、という実態は問題であると思う。

保護者しか、そのお子さんのことを理解してもらえない、周囲の理解がなく、本当に苦しい辛い日々であった、と言われていた。また、誰も助けてくれないので、自分たちが親の会や、不登校の子の居場所を作ったり、フリースクールを立ち上げたり、と何らかの活動をされている保護者がほとんどであった。

こういった場を知らず、またギフティッドという概念も知らず、親子で悩み苦しんでいる家庭が沢山おられることは想像に難くない。まずは、教育委員会や学校にギフティッドのことを知ってもらうことからスタートしたいと思った。

参加された保護者の方々も、どうかよろしくお願いします、と言われていた。

#### \* 添付資料

当日プログラムの内容と基調講演者経歴記載パンフレット



100人いけば100人がそれぞれ違うギフティッド。  
一人ひとりが魅力満載。そして、まだ自分も知らない秘めた  
素晴らしさを持っています。しかし、「ギフティッド=天才児」  
「ギフティッドはIQが高い」「ギフティッドは飛び級するんでしょ」  
「ギフティッドは何でもできる」「ギフティッドは発達障がい」など  
間違った情報、そして偏った情報を持っていませんか。長年にわたり  
ギフティッドの子供たちの教育に携わり、実際的な知識と経験のある  
教師、保護者による確かな情報からギフティッドについて学ぶことが  
できる機会です。子供と関わる教育者、保護者、医療関係者の方々、  
この年1度の特別なギフティッド教育のカンファレンスに是非  
お越しください。

第5回を迎える今年のテーマは「The Big Picture of Giftedness -  
ギフティッドの全体像を知ろう!」です。  
ギフティッドネス、ギフティッドと見極められる子供、  
ギフティッド教育に関しての理解を参加者の皆さまと  
深めていきたいと思います。

ギフティッド教育カンファレンスに参加すると

- ①ギフティッドに関して幅広い知識を得る事ができる。
- ②ギフティッド教育をしている先生方からお話を聞く事ができる。
- ③ギフティッドの子育てに関する座談会を保護者と楽しむ事ができる。
- ④自分と周りの魅力を再確認できる。

ギフティッド教育カンファレンスを開催する理由

理由1「次世代を創造するクリエイティブなマインドを  
持つ子供たちに光をあてるため」

一般的なカリキュラムや取り組み方では、学習面、社交面、  
感情面、身体面において、十分にチャレンジができません。  
現在、日本の学校ではギフティッドの子供たちが必要とする  
チャレンジの機会が限られています。

理由2「ギフティッドの子供たちを誤診から守るため」

ギフティッドは教育用語ですが、医療用語として使用されている  
傾向があります。日本においてはギフティッドという言葉が社会で  
認知されていないのみならず、発達障がいとして理解される傾向に  
あります。今後間違った認識を広めない為にもギフティッド教育、  
またはギフティッドに関する正しい理解が必要です。誤診の最大の  
理由として、医療関係者、教育関係者、保護者のギフティッドに  
関する知識の不足が挙げられます。

## お問い合わせ

日本ギフティッド協会  
カンファレンス委員会事務局  
office@jagifted.org  
www.jagifted.org

## 開催場所

スクエア荏原 大会議室  
東京都品川区荏原4-5-28  
(武蔵小山駅徒歩7分)



# 第5回ギフティッド教育 カンファレンス2018

- The Big Picture of Giftedness -  
ギフティッドネスの全体像を知ろう!



2018年6月9日(土)・10日(日)  
@スクエア荏原 in 品川

主催: 日本ギフティッド協会  
NPO法人Feelosopher's Path Japan

## カンファレンス参加費

一般	2日間	19,000円
学生	2日間	10,000円
一般	6月9日	10,500円
学生	6月9日	5,500円
一般	6月10日	10,500円
学生	6月10日	5,500円
懇親会	6月9日	5,000円

ネットでお申し込みの場合  
下記のリンクからお申し込みください。  
Peatixチケット:  
[jag2018.peatix.com](http://jag2018.peatix.com)

メールでお申し込みの場合  
①日本ギフティッド協会  
カンファレンス委員会事務局まで、  
チケットの種類、枚数について  
ご連絡ください。  
メールアドレス：[office@jagifted.org](mailto:office@jagifted.org)

②返信メールに記載の銀行口座に  
代金をお振り込みください。

③お支払いの確認後、事務局から  
チケットメールが送られます。  
カンファレンスの参加登録が  
完了となります。

6月9日(土)

9:30: 受付(大会議室外)

10:00: 開会挨拶

10:15: 「ギフティッドネスとは」-今瀬

11:30: 昼食

12:45: 「ギフティッドと見極められる子供たち」-スミュイン

14:15: 休憩

14:30: 「日本におけるギフティッドの神話と現実」-今瀬

15:45: 振り返り「ギフティッドへの挑戦」

16:15: つながりの機会

16:40: 閉会挨拶

16:50: 会場退出

17:30: 懇親会

6月10日(日)

9:30: 受付(大会議室外)

10:00: 開会挨拶

10:15: アイスブレイク

10:40: グループワーク(1日目振り返り)

11:30: 昼食

12:50: 「ギフティッド教育のレシピ」-スミュイン

14:10: 休憩

14:20: 「ギフティッド教育が目指すもの」-今瀬

15:30: 振り返り「ギフティッドへの挑戦」

16:00: つながりの時間

16:30: 閉会挨拶

16:50: 会場退出

\*一部プログラムの内容が変わる場合もございます。  
予めご了承くださいませ。

基調講演者:

**スティーブ・スミュイン氏**

教育コンサルタント。活動の場は、アメリカ、中国、日本と各国にわたる。43年間教育に携わり、多くの魅力ある子供たちを輩出してきた。米国においてギフティッド教育、EQ(感情知能)教育で有名なヌエバスクール中等部の校長に就任。1997年にはギフティッドを対象にしたサンフランシスコベイエリアで唯一の私立中学共学校であるオデッセイスクールを設立。米アップル社の故ジョブズと引き合いに出されるほどのクリエイティブな才能でギフティッド教育の充実と発展に携わり、子供たちが安心して個々の魅力を探求できるコミュニティー作りに励む。

**今瀬 博氏**

18才で渡米。大学院卒業後オデッセイスクールに赴任し、12年に渡りギフティッド教育に携わる。専門は感情知性教育、キャラクター教育、カリキュラムデザイン。同校の副校長に就任後は、サンフランシスコベイエリアでギフティッド教育の普及活動を行った。2012年、退職後は同僚だったエリン・スターリングとFeelosopher's Pathを設立。帰国後はNPO法人Feelosopher's Path Japanを立ち上げ、オデッセイスクールのギフティッド教育を基盤に、ギフティッドの子供を含めた全ての子供たちにFP教育を提供している。活動内容は教師、保護者を対象にしたワークショップや、子供たちを対象にしたデイ・アフタースクールや年間冒険プロジェクトなど。日米において、子供たちのワクワクを応援している。Gifted Support Groupミーティングを月1回開催し、ギフティッドを育てる親をサポート中。